別記第１号様式の２（第６条関係）

（表）

抽選番号

北海道営住宅入居申込書

申込者	現住所	（ふりがな） 氏　　名	
	本籍地（国籍）		
	電　話（自宅）　　（会社等）		

道営住宅に入居する者等	（ふりがな） 氏　　名	続柄	生年月日	職業	勤務先の名称・所在地	勤続年数	年間収入
入居者		本人	・　・				
同居する親族			・　・				
			・　・				
			・　・				
			・　・				
別居扶養親族			・　・				
			・　・				

希望の団地等						
住宅区分	一般住宅又は特定目的住宅　・　子育て世帯向け住宅					
団地・地区名		間取り		階数		
特定目的住宅への入居希望	入居を希望する・しない	希望する目的の住宅				
		特殊事情				
摘　要						

注　太枠の中に記入してください。

＜収入計算表＞

１　所得　＝ ＝ ＝ 所得合計	３　公営住宅法に定める収入月額 所得金額： －控除金額： 収入年額： 収入月額： ４　年度入居収入基準 円
２　控除額 同居・扶養控除額　円×　人＝ 老人扶養控除額　円×　人＝ 特定扶養親族控除額　円×　人＝ 障害者控除額　円×　人＝ 特別障害者控除額　円×　人＝ 老齢者控除額　円×　人＝ 寡婦（夫）控除額　円×　人＝ 控除額合計	５　入居収入基準　適合・不適合 審査者名：

（裏）

住宅の困窮状況	次に掲げる住宅の困窮状況のうち、該当するものに○をつけてください。 1　現在住宅以外の建物又は場所に居住している。 2　保安上危険な住宅や衛生上有害な状態にある住宅に居住している。 3　他の世帯と同居しているため、著しく生活上の不便を受けている。 4　住宅がないため、親族と同居することができない。 5　住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、風紀上又は教育上不適切な居住状態にある。 6　自己の責めによらない理由で、家主、貸主などから立退きを要求され、適当な立退き先がない。 7　住宅がないために勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。 8　収入に比べて著しく過大な家賃の支払いを余儀なくされている。 9　その他（具体的にお書きください。） ［　　］
現在の住宅の状況	現在居住している住宅の種類 1　民間アパート・賃貸マンション　　2　寮　　3　借間・下宿 4　公団・公社住宅　　5　社宅　　6　公営住宅 7　その他（　　）
	現在居住している住宅の間取り
	現在居住している住宅の家賃等
	現在居住している世帯構成

この申込みについては、次のことを誓約します。

1　この申込書に記載した事項は、すべて事実に相違ありません。
2　この申請書に偽りの事項があった場合は、道営住宅の入居決定の取消しを受けても異議を申し立てません。
3　この申込書に記入した住宅状況について事実調査をする場合は、その調査を妨げ、又は拒絶しません。
4　申込者及び申込者と現に同居し、又は同居しようとする親族は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77号）第２条第６号に規定する暴力団員ではありません。

令和　　年　　月　　日

北海道檜山振興局長　様

申込者氏名　　㊞

＜処理欄＞

	当　落	当選・落選
	団　地	
	住　戸	

指定管理者
受付印